

支援部だより

令和7年12月
八代支援学校
支援部

～自立活動の充実に取り組んでいます～

自立活動とは、個々の児童生徒の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度、及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を培うことを目標にして取り組む学習です。(学習指導要領より)

さて、本校では自立活動の充実に向けて、職員研修に取り組んでいます。

今年度も、熊本県立菊池支援学校スーパーティーチャーの宮崎亜紀指導教諭に自立活動の指導について、6月の校内研修で講話をいただきました。



<校内研修で自立活動の指導について学んでいる様子>



夏休みには、担当する児童・生徒の実状に応じた個別の教育支援計画を作成しました。また、各学部で、計画を読み合いながら、意見を交換しました。

10月には、小学部2年生担任の片山先生が自立活動の公開授業を行いました。担当する児童の関心や興味の幅を広げるために児童の好きなキャラクターを教材に使ったり、得意なことを入れたりした活動を考え、授業を展開しました。

<片山先生の感想>

児童のことを考えるにあたり、1つの行動に対して見方を変えることによって捉え方が違ってくることを改めて実感しました。今回の研修を通して、たくさんの人で分析や中心的課題を検討できたことで、児童の課題解決に迫ることができたと思います。



研究会では、「担任1人の見方・考え方では、偏ったり、部分的になったりするところがありました。」「複数の教師の意見を聞くことで、違う視点が生まれ、多角的に児童に合わせた指導計画が作成できることを実感しました。」という意見が多く出ました。

研究会のまとめでは、熊本県教育委員会の特別支援教育課や八代市サポートセンター、菊池支援学校の宮崎指導教諭に指導助言をいただきました。今後も、本校の教育目標「ゆたかな心」「たしかな力」の育成を実現するために、全職員チームを組んで子どもたちを支援していきたいと思います。(文責 小学部 田中)